

谷川俊太郎邸関係資料調査について

令和7年3月に杉並名誉区民となった日本を代表する詩人・谷川俊太郎(1931～2024)の関係資料について、遺族から杉並区への寄贈の意向が示された。

4月中旬以降、生涯学習推進課において準備調査を行ったところ、関係資料は蔵書を中心に創作ノート、原稿、書簡のほか、創作データが収められているフロッピーディスクや USB メモリー、本人作製の模型飛行機や収集した古美術品まで、その物量は膨大で十万点を優に超えることが判明した。

以上のことから、今後、区として寄贈意向を受けた資料を、どのように保存・活用していくか見極めるため、区議会第二回定例会の議決を以て、建物も含めた速やかな資料調査を下記のとおり実施する。

記

1. 調査内容

- (1) 創作ノート・書簡・古美術品・収集品等の写真撮影
- (2) 各本棚の蔵書を原位置で記録後、本棚ごとに蔵書目録作成
- (3) 各部屋の本棚位置・本棚立面図作成
- (4) 建物の平面図作成
- (5) 建物詳細調査

2. 調査費用

学識経験者・文化財ボランティア・大学院生（学芸員有資格者）謝礼、写真撮影委託、報告書印刷等の経費を区議会第二回定例会に上程

3. 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|--------|---|
| 6月～12月 | 創作ノート・書簡・古美術品・収集品等の写真撮影
各本棚の蔵書を原位置で記録・目録を作成
建物の平面図、本棚の平面・立面図を作成
建物詳細調査 |
| 1月～3月 | 関係資料の詳細を分析して、年度内に報告書作成 |